

教えて!

今、話題の 労働時間 ルール

はたらくのそばで、
ともに歩む
連合

Action!
36



今の「上限ルール」
働き過ぎを
防止できている?

「労働時間の上限ルール」は、2019年4月から順次スタート

労働時間の基本ルールは「**1日8時間、週40時間以内**」
労働者の代表と「**36（さぶろく）協定**」を結んだ上での、
残業時間の上限は「**1カ月45時間以内、年360時間以内**」です
例外として
「**臨時的な特別の事情がある場合**」に限り、特別条項を結び、
「**休日労働を含めて月100時間未満、年720時間以内**」となる

36協定とは?

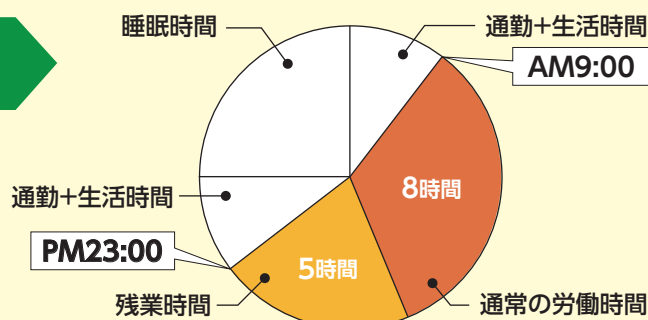


詳しくはこちら

でも、月100時間の残業は「過労死ライン」

月100時間の
残業イメージ

毎日
5時間残業が
20日間続く...

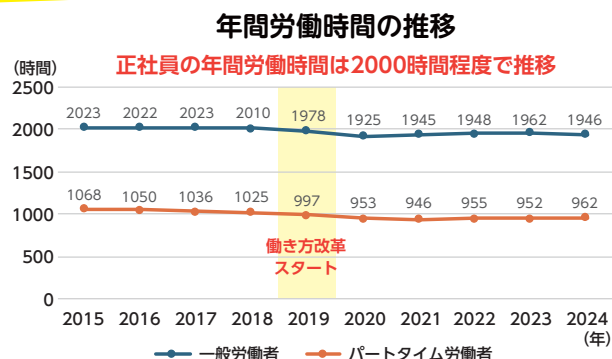


過労死や
病気等につながる
危険性が高く、
労災認定
されるかどうかの
ボーダーライン

労働時間の現状をデータで確認すると...

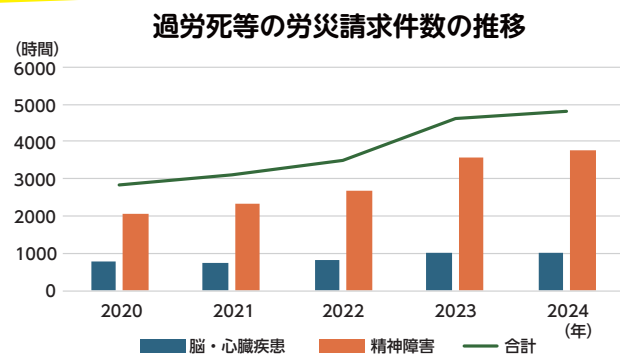
注目ポイント①

正社員の労働時間は減っていない!



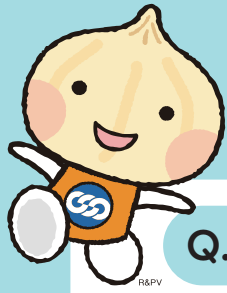
注目ポイント②

働き過ぎでの健康被害も増加が続く!



上限ルールが導入されたけど、長時間労働や過労死等はなくならない!

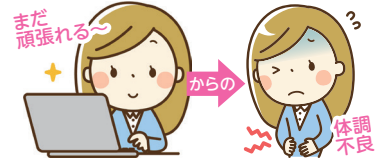
労働時間のギモンにこたえます！



労働時間ルールについて、さまざまな立場から疑問や意見が出されているけど、
その中で、よく話題になっているテーマについて解説していくよ！

Q. もっと働きたいと思っている人が働けるならいいことじゃないの？

今でも時間外労働と休日労働は最大で月に100時間未満まで働くことができる仕組み。
これは過労死かどうかを判断するボーダーラインと同じだよ。
それに会社と労働者には力の差があるから、
本当に自分の意思だけで決めるのは難しいよね。



必要な対策

労働時間の上限ルールの段階的な引き下げ！
生活時間を確保するためのインターバル規制の義務化！

Q. 収入を増やしたくて、もっと残業したい人もいるんじゃないの？



残業はあくまで上司からの指示で行うもので、収入を増やすためのものじゃないよ。
残業しなくても、豊かに安心して暮らせるように
賃上げを進めることが大事だよ。
「残業が申請できない」「残業分の賃金が払われない」ことがないよう、
サービス残業をなくすことが必要だよ。

必要な対策

労働時間の適正把握の罰則付きでの義務化！

Q. 人手不足をカバーするためにたくさん働かないといけないのは仕方ないの？

人手不足を長時間労働でカバーしようとしても、疲れて健康を害したり
して長続きしないよ。それよりも、女性や高齢者、障がい者など
様々な事情を抱えた人がそれぞれ働きやすい環境をつくることで
働ける人を増やす方が**大事**だよ。



必要な対策

フレックスタイム制などのさらなる活用促進！

Q. 裁量労働制の拡大を求める意見もあるけど？



裁量労働制は、**働いた時間にかかわらず、あらかじめ決めた時間数を労働したものと扱う仕組み**。でも、適正な運用がなされていない
実態もあり、長時間労働になりがちだから、**制度拡大ではなく、**
労使による**適切な制度運用や対象者の健康管理の徹底が必要**だよ。

必要な対策

裁量労働制は拡大せず、制度を適切に運用しよう！

すべての働く人のいのちと健康を守り、豊かな生活時間の確保を実現するため、
「働き方改革」のさらなる前進に向けた法改正を実現しよう！

